

オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査の概要

1. 29年度の実施内容について

- 大会の機運醸成に向けて特別に実施される要素を含む文化イベント等について、試行プロジェクトを実施することにより、その効果と課題を分析する。

【応募要件ポイント】

- オリパラ大会の機運醸成に向けた、質の高い日本文化の普及・魅力発信の内容であること
- 国内外での普及・魅力発信のため、多言語対応、バリアフリー対応、国際標準化・規格化対応のいずれかを促進する取組みとその効果検証ができること
- プロジェクトの実施を通じて次世代に残すべき遺産（レガシー）を提示されていること
- 2020年東京オリパラ大会に向けて何を実現するのか、2020年東京オリパラ大会開催年に何を実施するのか、2020年東京オリパラ大会以降何につなげていくかが含まれた実施計画が提示されていること

- 試行プロジェクトを全国から公募し、有識者等審査会による審査を経て、30件程度のプロジェクトを選定予定。
- 試行プロジェクトは、1件当たりの上限1000万円を予定。
- 試行プロジェクトの効果と課題について、報告会を開催。

※28年度採択実績

公募により有識者等審査会による審査を経て、32件を選定し、プロジェクトを実施。

試行プロジェクト実施例 <大相撲 beyond2020 場所>



「相撲」の国際発信力や障害者のアクセシビリティを強化するべく、外国人や障害者を主な観客としたテストイベントを開催した。外国人向けに、英語による実況解説、日英表記パンフレット配布を行い、障害者向けに手話通訳・要約筆記モニターの設置、点字パンフレットの配布などを行った。試行プロジェクトの結果を活かし、大相撲1月場所では、パンフレットの英語表記、総合案内に筆談記の設置を行った。また、今回のような取組みを2020年まで継続的に行っていくこととしている。

2. スケジュール（予定）

- | | | |
|-------|------|-------------------|
| 平成29年 | 4月上旬 | 調査の受託者の決定・契約締結 |
| | 4月上旬 | 試行プロジェクトの公募 |
| | 6月上旬 | 試行プロジェクトの決定 |
| | | ※決定後順次、試行プロジェクト実施 |
| 平成30年 | 3月 | 報告会の実施、報告書の提出 |